

InterFM897

The 239th Programming Deliberation Committee 第 239 回番組審議会 議事録

開催日 2020 年 5 月 19 日（火）

出席者：湯川れい子委員長、亀渕昭信委員、西田善太委員、安藤美冬委員、吉田拓巳委員

1、

議題（審議番組）： 「POWER OF MUSIC ～音楽の力～」

放送日時： 2020/4/1(水) 12:00 - 16:00

DJ： ジョー横溝

会社からの説明

元気をもらったあの音楽。楽しい思い出がつまったあの音楽。大好きなアーティストのあの音楽。リスナーや DJ、ミュージシャンたちが“今だからこそ聴きたい音楽”をセレクト（リクエスト）しオンエア！4 月 1 日の放送では、リスナーのリクエストを中心に 26 曲のプレイリストが完成。また、佐野元春やシーナ & ロケッツ 鮎川誠等、素敵なミュージシャンも急遽電話出演。音楽と温かいメッセージを届けてくれました。

委員からの意見・感想

審議委員 A

コロナ禍の中、触れるニュースはどれもネガティブなものばかりだったところ、ポジティブな路線だったのがとても良かった。DJ のキャラクターも面白い。今の状況下、ネット上では得られない「ライブ感」が安心するし、面と向かわずして、“ながら”で自然と情報を得られるラジオの可能性を感じた。リスナーとよりインタラクティブに番組をつくっていったらさらに面白くなったと思う。また、国を飛び越え、音楽のライブセッションをするなど、今だからできる企画をいろいろと挑戦して行ってほしい。

審議委員 B

未曾有の事態には心が不安になることがあるが、DJ の語り口が自然体で優しく、時に自虐的なトークで笑わせてもらえて、ほっとした。リスナーに寄り添ってくれている感じがしてよかった。ラジオのちょうどよい情報量や DJ の声、リスナーとの一体感、ゲストから語られる愛の気持ちや想いなどがすべてうまく作用していたように思う。だからこそ、もう少しトークが聞きたいという気持ちにもなった。今後、アーカイブに残ることの価値が薄れて、より瞬間的なものに価値がついていくと思うので、プロが手掛ける愛ある作品（ラジオ番組）により多く出会っていきたい。

審議委員 C

DJ の考えや感覚がリスナーの気持ちに近いようで、それが良かった。自虐的で、周りを上手に振り回すような進行も面白く、全体的に楽しめた。ロックミュージックがたくさん聞けたのもいい。ゲストインタビューは非常に素直で、こういった状況下にミュージシャンたちはどう感じ、何を思っているのか、その心がはっきりと覗けた内容になっていた。ただ、“音楽の力”と銘打ちつつも、リスナーからのリクエストや DJ の選曲に関して、音楽の力を感じた背景などについて触れられずにいた部分も多く、気になった。

審議委員 D

リスナー参加型で、ラジオファンの愛を感じる番組だった。ゲストの佐野元春さんがトップで登場したのはインパクトがあってよかった。DJ に関しては、自分を卑下する部分が多く気になったが、別の DJ が登場するとバランスが良くなったと感じた。選曲については、いくつか解説がほしかった。曲とトークをもっと結び付けて、意味のある楽曲オンエアができるのではないかと。また、番組ラストはバタバタと慌ただしく DJ が引っ込んだ割に、その後に楽曲が 3~4 曲ただただ流れていた時間があり、疑問が残った。構成の詰めが甘かったように思う。

審議委員 E

DJ の選曲やトークがとっさの思い付きで発信されているところがあり残念だった。番組を浅くしてしまっていたように思う。また、ゲストインタビュー時など、DJ が引いた立ち位置で話を聞いていて脇役に徹していたが、DJ にはしっかりとゲストをリードして番組のかじを取ってほしいと感じた。音楽ライターとしての DJ の音楽に対する知見ももっと聞きたかった。また、世界規模での緊急事態だからこそ、日本だけでなく、世界にも目を向け、世界中の様子にも触れてほしかった。

—会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上